



事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【 II 】
2 実施対象者	水戸市立河和田小学校 全学年対象 児童369名 教職員20名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 総合的な学習の時間「水戸まごころタイム」) ② 行事名 ( 感謝の集い ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	・「グローバルマナー」や「おもてなしの心」の大切さについて学ぶことを通して、ボランティアマインドの醸成を図る。 ・オリンピック・パラリンピック精神の涵養を図る。
5 取組内容	講演「グローバルマナーとおもてなしの心」 全児童を対象に、日本航空元CAで現筑波大学客員教授江上いずみ先生を招いて、「グローバルマナー」や「おもてなしの心」の大切さについて学んだ。   学校行事「感謝の集い」 講演で学んだ「おもてなしの心」を生かし、日頃お世話になっている地域の方々を招いて「感謝の集い」を行った。相手を思いやるメッセージや、プレゼントを作成し、代表児童が贈呈した。  

	<p>学校図書館「オリンピック・パラリンピックコーナーの設置」          小学校図書館にオリンピック・パラリンピックについての特設コーナーを設置した。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>CAの方が実際に行っている握手やノックの仕方などを学び、文化によるマナーの違いを体験したことにより、相手を尊重することの大切さを学ぶことができた。また、学校での礼に分離礼が定着した。</p> <p>図書館に特設コーナーを設置したことで、オリンピック・パラリンピックへの関心を高めることができた。</p> <p>今回の活動は、心を育て、実践につなげるというものであったが、「感謝の集い」を計画・実行できたことから、児童は達成感をもつことができた。そして、2020 東京オリンピックに向けて、観戦等に積極的に参加する意識を育むことができた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>地域の方との交流          河和田小学校区は、学校と地域、PTAの結びつきが強いことが特色として挙げられる。「感謝の集い」は、地域の方に日頃の感謝を伝えるために、学校へ招いて行った。その際、全員が参加意識をもてるよう、メッセージカードやメダル作り等の役割を分担し、全校児童が関われるようにした。</p> <p>感謝の集い参加者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ゆたかな河和田をつくる会（自治会）</li> <li>② 読み聞かせボランティア</li> <li>③ 民生委員</li> <li>④ 学校評議員・学校関係者評価委員</li> <li>⑤ PTA役員</li> </ol>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組への時間の取り方</li> <li>・学校全体での事業への意識共有</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>来年度は、茨城国体が開催されるため、今年度学んだ「おもてなしの心」を生かして、他県の選手や応援の方々に積極的に関わっていけるように計画していきたい。そして、2020 東京オリンピックにむけて、積極的に関わろうとする態度を高めていきたい。</p>